

教科	科 目	単位数	学年・クラス
芸術	美術Ⅱ	2	2年・地域探究コース

### 1 使用教材

使用教科書	美術2
出版社	光村図書
副教材等	-
出版社	-

### 2 学習の目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。

### 3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表そうとしている。
② 思考・判断・表現	造形的な良さや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしようとしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を持ち、完成を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造しようとしている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
授業態度	B	B	A	発言(発表)・忘れ物の有無 作品提出締め切り厳守
スケッチブック 成果物	A	A	B	内容・習作や完成作品・目標達成度
ワークシート	A	A	B	ユーモアや発想などの思考

※表中のA・B・Cは評価の重要性を高い順に表している。

#### 4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	<p>「人を、社会を変えていく」 ・オリエンテーション</p> <p>「日常にとけるアート Part.2」 ・着色、仕上げ ・作品展示、撮影 ・相互鑑賞</p> <p>「素材と向き合う」</p>	<p>・「高校美術」を学ぶ意義について、今までの学びを生かしながら自分なりの考えを持つ。</p> <p>・石粉粘土やアクリル絵の具について習得した知識や技能を生かし、美術Ⅰで制作した作品に着色して仕上げる。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。</p> <p>・小刀の使用方法について理解し、木彫の立体作品を制作する。 ・形の捉え方に着目し、空間認知能力を育成するなかで多角的・多面的な視点を習得する。</p>
2 学期	<p>「オリジナルピクトグラム」 ○問題解決のためのデザイン</p> <p>「絵に隠された謎を読み解く」</p>	<p>・木材という素材の良さをより一層引き出すために、鑿を使用して仕上げ、作品を完成させる。 ・造形的な良さや美しさを感じ取り、作者の意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。</p> <p>・社会で起きているさまざまな問題に目を向け、色や形、材料を工夫して解決のためのデザインを考える。 ・暮らしや社会をよりよくするためにできることを考えたり話し合ったりしてオリジナルのピクトグラムをデザインする。</p> <p>・時代ごとの表現技法や作品の特徴とその変遷について学び、理解を深める。 ・美術史を学び、より広い視点で作品を鑑賞する。</p>
3 学期	<p>「住まいをデッサンする」 ・珪藻土コースター</p> <p>「ジブリの世界」 ○アニメーションをつくる ・映像メディア表現 ・映画鑑賞</p> <p>「人を、社会を変えていく～まとめ～」 ・一年間の振り返り</p>	<p>・自分の住まいを彩るデザイン(用と美)について考え、珪藻土コースターをデザインする。</p> <p>・アニメーションの歴史に触れ、豊かな世界について知ったり、ジブリが長年愛されている理由について自分なりに分析したりする。 ・映画の構成など、これまでとは違った美術的視点でジブリ映画を鑑賞する。</p> <p>・これまでの学習を自分なりに振り返り、一年間で高校美術に対する考えがどのように変化したのか考察する。</p>